

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度		2023年度		開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		管理栄養学科	
科目名称		からだと栄養Ⅱ						授業形態		講義	
科目コード		307700		単位数		2単位		配当学年		1	
担当教員名		川北 久美子						実務経験教員		○	
授業概要		<p>からだと栄養Ⅰやからだと疾病Ⅰで学んだ知識をもとに五大栄養素の消化吸収について学ぶ。また個体維持のためにヒトに備わっている摂食行動について学ぶ。消化・吸収については、関連するホルモンや消化酵素、それぞれの分泌細胞や作用機序、吸収機構を理解し、小腸から吸収されてからの栄養素の各組織への運搬・利用・貯蔵などの機構についても理解を深める。また消化管と免疫の関わりや免疫と栄養についてもふれる。</p>									
関連する科目		同時期にからだと疾病Ⅱを受講することが望ましい。履修後は生化学、臨床医学を受講し理解を深めることが望ましい。									
授業の方法と進め方		書きこみ式のプリント教材を配布する。特に国家試験に出題される点を強調しながら埋めることで教科書の理解を図る。理解しがたい内容に関しては、まず自身で教科書を読み、プリント教材に図式化する。その際に教室を回り、質疑応答しながら図式を完成させることで理解を深める。また項目ごとに関連する国家試験問題を提示し、授業内容とリンクさせ、学んだことがどのように出題されるかを説明する。ほぼ毎回授業初めに小テストを行い、理解度を確認する。									
授業計画【第1回】		<p>栄養素代謝の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 糖質、脂質、タンパク質代謝の概要を学ぶ。 									
授業計画【第2回】		<p>食物摂取と消化器系</p> <ul style="list-style-type: none"> 消化・吸収の意義と消化器系の各部位の役割について学ぶ。 									
授業計画【第3回】		<p>消化の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 消化の調節機構と栄養素別の消化過程の概要を学ぶ。 									
授業計画【第4回】		<p>吸収の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 吸収の調節機構と栄養素別の吸収過程の概要を学ぶ。 									
授業計画【第5回】		<p>タンパク質の消化吸収①</p> <ul style="list-style-type: none"> タンパク質の管腔内消化とその調節について学ぶ。 									
授業計画【第6回】		<p>タンパク質の消化吸収②</p> <ul style="list-style-type: none"> タンパク質の吸収について学ぶ。 									
授業計画【第7回】		<p>糖質の消化吸収①</p> <ul style="list-style-type: none"> 糖質の管腔内消化とその調節について学ぶ。 									
授業計画【第8回】		<p>糖質の消化吸収②</p> <ul style="list-style-type: none"> 糖質の吸収について学ぶ。 									
授業計画【第9回】		<p>脂質の消化吸収①</p> <ul style="list-style-type: none"> 脂質の管腔内消化とその調節について学ぶ。 									
授業計画【第10回】		<p>脂質の消化吸収②</p> <ul style="list-style-type: none"> 脂質の吸収について学ぶ。 									
授業計画【第11回】		<p>ビタミンの吸収</p> <ul style="list-style-type: none"> 脂溶性ビタミンと水溶性ビタミンの吸収について学ぶ。 									

授業計画 【第12回】	ミネラルの吸収 ・主にカルシウムと鉄の吸収などについて学ぶ。
授業計画 【第13回】	栄養素の体内動態 ・消化吸收後の体内動態を学ぶ。
授業計画 【第14回】	摂食行動① ・摂食の調節について学ぶ。
授業計画 【第15回】	摂食行動② ・栄養と免疫について、消化管と免疫の関わりや免疫に対する栄養素の作用について学ぶ。
授業の到達目標	1. 栄養素の消化・吸収機構を理解して、体内における役割を理解する。【知識、理解の育成】 2. 体内リズムの重要性や免疫に対する栄養素の作用について理解し、よりよい食、生活習慣を考えることができる。【汎用的技能の育成】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)
授業時間外の学習 【予習】	次回授業内容についてテキストを熟読することで内容を把握しておくこと。(約1時間)
授業時間外の学習 【復習】	授業で習った内容について必ず教科書を読み返すこと。ユニバ上にプリント教材の解答を随時アップロードするので、書き漏らしや書き間違いを必ず追加訂正しておくこと。 ほぼ毎回授業の最初に前回授業内容にかかる小テストをするので復習しておくこと。(約1.5時間)
課題に対する フィードバック	小テストについては毎回答え合わせをし、チェック後返却する。 定期試験は試験前後に必要な事項の解説および質疑応答をする。試験に対する質問には個別でも対応する。
評価方法・基準	小テスト (10点) 定期試験 (90点)
テキスト	生化学・基礎栄養学 第2版池田彩子他 編著 (朝倉書店) 栄養科学イラストレイテッド 基礎栄養学 第4版 田地陽一 編 (羊土社)
参考書	栄養士・管理栄養士のためのなぜ? どうして? 人体の構造と機能、基礎栄養学 (MEDIC MEDIA) 栄養学の基本 人体の理解と栄養学の基礎 南久則 編 (医歯薬出版株式会社) 必要に応じて資料を配布する。